

2016 年度
環境活動レポート

対象期間
2015 年 9 月～2016 年 8 月

2016 年 10 月 24 日

昭和ネームプレート株式会社

環 境 方 針

昭和ネームプレート株式会社は、事業活動において

① 地球環境の保全が人類共通の最重要課題であること

② 地域社会の環境保全が地域の発展及び共存の上で重要であることを認識

し、可能な限りの範囲で目標を定め、省資源、省エネルギー、

リサイクルを推進し、環境負荷に配慮した活動を実行します。

それらをふまえ下記に環境方針を定め継続的に改善します。

1. 廃棄物の削減及びリサイクルの推進
2. 電気・ガソリン・ガス等のエネルギーの削減
3. 水資源の節水
4. 化学物質を正しく使用し管理する
5. 環境関連法規制等の遵守
6. グリーン購入の実施
7. 長期的に LED 照明の推進

2015年10月21日

昭和ネームプレート株式会社

代表取締役 瀬田 昭男

事業活動の概要

- (1) 会社名 昭和ネムプレート株式会社
- (2) 代表者 代表取締役社長 瀬田昭男
- (3) 設 立 1957年（昭和32）4月29日
- (4) 資本金 1,000万円
- (5) 事業内容 ネムプレート・パネル・ラベルの製造及び販売
- (6) 事業規模 年間売上 約472百万円（2016年度実績）
従業員 38名
- (7) 本社所在地 東京都荒川区荒川6-52-10
TEL 03-3892-4221（代） FAX 03-3892-4222
- (8) 審査対象工場 昭和ネムプレート株式会社 埼玉工場
埼玉県越谷市蒲生3882-1
TEL 048-988-7611（代） FAX 048-986-6261
E-mail sato@showa-np.com
- (9) 工場規模 延面積 約1,089㎡
- (10) 環境管理責任者
代表者 代表取締役社長 瀬田昭男
管理責任者 品質保証部長 神谷丈夫

環境目標とその実績

			2016年度 実績	2013年度 2012.9 ~ 2013.8 (実績) BM	2016年度 2015.9 ~ 2016.8 (目標)	2017年度 2016.9 ~ 2017.8 (目標)	2018年度 2017.9 ~ 2018.8 (目標)
二酸化炭素排出量削減	電力の削減	総量 (kWh / 年)	107644	113433	110030.01 (3%)	107213.42 (.0.4%)	106890.50 (0.7%)
	ガスの削減	総量 (m ³ / 年)	39.4	67.1	65.1 (3%)		
	ガソリンの削減	総量 (ℓ / 年)	10855.46	11251.58	10914.03 (3%)	10812.03 (0.4%)	10779.50 (0.7%)
	CO ₂ の削減 (上記の合計)	総量 (t / 年)	77.200	80.998	78.569 (3%)	76.891 (0.4%)	76.660 (0.7%)
節水	総排水量削減	総量 (m ³ / 年)	434	2014年度実績 631	618 (2%)	432.3 (0.4%)	431.0 (0.7%)
廃棄物量の削減	一般廃棄物削減	総量 (kg / 年)	593.14	2015年度実績 874.2	865.5 (1%)	590.8 (0.4%)	589.0 (0.7%)
	産業廃棄物の削減	総量 (kg / 年)	5666.4	2015年度実績 5652.1	5595.6 (1%)	5629.5 (0.4%)	5612.5 (0.7%)
	段ボールの再利用	再利用率 (kg / 年)	リサイクル率 100%	リサイクル率 100%	リサイクル率 100%	リサイクル率 100%	リサイクル率 100%
グリーン調達の推進	事務用品等の購入			現状購入品については少量であるが、長期にかけて100%を目指す。			
長期的にLED照明の推進	消費電力の違いや電気料金の差額を調べる。			各部の目標に向け、活動に繋げる。 長期的に導入出来る様活動する。			

(電力：日本テクノ(株)2013年度実排出係数 0.482 (kg-CO₂/kwh) の換算値を使用。)

- CO₂の削減は目標を達成した。当初の3ヶ年目標(2016年度)の3年目の目標数値も達成した。ガスは業務上で使用する事が少ない為、2016年度の環境目標からは外すが使用量は記録しCO₂に換算する。
- 一般廃棄物は3年連続未達成だったが目標を達成した。今期は2016年度実績を新たにBMとする。産業廃棄物は3年連続未達成だった為、2014年9月から2015年8月(2015年度)実績を据え置きし-0.4%の目標修正する。一般及び産業廃棄物は目標数値(BM)を見直した。
- 水道は2ヶ月に1回の測定 前期は、水道管(φ数)及びメーター交換により数値に大きな変動が見られた。その為、新たに2014年度実績(BM)にし目標を達成したが使用量の推移を監視した結果やはり、大きな削減となった。その為、2016年度実績を新たにBMとする。
- 産業廃棄物以外は中期3年目目標数値を達成したので今期は新たに中期目標を策定し3年で-1%を目指して行く。2019年度が終了した時点で中期目標の見直しをする。
- この他に次のことに取り組みます。
 - 化学物質を正しく使用し管理(棚卸し等)削減にむけて活動する。
 - レイクタウン工場(プレス部)は今年度はBM値や目標設定する予備活動の期間として来年度(2018年度)から正式に組織の中に組み込みます。

環境目標・活動計画と評価

対象期間(2015年9月～2016年8月)までの目標とその実績についての計画と評価

取り組み項目		達成状況	評価(結果と今後の方向)
二酸化炭素排出量の削減	電力・ガス・ガソリン等の削減	B.M に対し-4.7% 達成 3%目標に対し 達成率 102%	目標数値に対しては僅かながら達成した。電力、ガソリンも僅かだがではあるが削減出来ており良い結果に繋がった。しかし、CO2の削減は厳しくなっており下に項目である LED 照明の導入も視野に入れ出来る限り増えないよう活動内容を見守る。
	総排水量の削減	B.M に対し-31.2% 達成 2%目標に対し 達成率 142%	目標数値に対し達成となった。前期、水道管(φ数)及びメーター交換をした事が影響した為と思われるがやはり大きなマイナスになり、元栓を約2割程度絞った効果が出たと思われる。しかし、BM値の変更により来期からは削減が厳しくなるだろう。
一廃棄物の削減	一般廃棄物の削減	B.M に対し-31.2% 達成 1%目標に対し 達成率 146%	3年連続の未達成だったが BM 値を見直した結果、大きな目標達成となった。来期は今期の数値を BM 値にする事で厳しくなっていくだろう。
	産業廃棄物の削減	B.M に対し+0.25% 未達成 1%目標に対し 達成率 98%	2年連続の未達だったが一般と同様に BM を見直した結果、僅かだが未達成になってしまった。しかし、仕事量に影響されやすい事から今期の数値は許容範囲内であると思われる。来期は BM 値を据え置きし削減目標を見直して様子を見守る。又、RPF として再利用しており廃棄処分はしていない。
化学物質の使用と管理	使用化学物質の種類を把握し正しく管理する。	社内にあるインクや溶剤等の使用状況・保管量を把握する。	棚卸し等の管理を行い、今迄以上の管理が出来た。今期も有機溶剤を安全に、正しく使用していく。
グリーン調達の推進	事務用品等の購入	少量ではあるが目標に対し活動した。	長期にかけて100%を目指す。
長期的に LED 照明の推進	消費電力の違いや電気料金の差額を調べる。	社外からの情報提供依頼	各部の目標に向け活動に繋げる。 長期的には数値化出来る様に活動する
<p>(総評)EA21の取り組みも長くなり各目標に対して段々、削減が厳しくなっているようである。今後は数値が増えない様に削減活動していく必要があるのかもしれない。たとえば、廃棄物はため込まず定期的に廃棄する、四半期ごとのまとめで季節がら増える期で強化月間を設ける等、何か今までとは違う取り組みをしていく事で成果に繋がるのではないか? ISO9001 と連携し活動することも必要かもしれない。また、来期はレイクタウン工場も加わりEA21の取り組みに必要な、数値の計測や従業員教育など実施しなければならない</p>			

環境関連法の遵守状況

環境関連法規等にとり、遵守しています。

「埼玉工場に適用とする環境関連法規一覧表」を基にその遵守状況を評価した結果、遵守していることを確認した。また、過去 5 年間にわたって違反や訴訟は 1 件も発生していません。

昭和ネームプレート株式会社埼玉工場

代表取締役社長 瀬田昭男

管理責任者 井口忠久

2016.10.24